顎裂術後食

対象者

顎裂骨移植術後の患者さま

◎顎裂骨移植術は、一般的に乳歯から永久歯に生え変わる時期に行われるため、
この食事は6～9歳の児童を対象に必要栄養量を充足できるようにつくられています。

◎　顎裂骨移植術について
顎裂(がくれつ)骨移植術は、口の周りに生まれつき裂け目がある状態の患者さまに行われる、裂け目の骨欠損部に骨を移植する手術です。

◎　顎裂術後食について
顎裂骨移植術後の食事は当院では通常、下記のように形態が上がっていきます。
顎裂骨移植術後の食事は、創部に食べ物が詰まったり、貼りついたりしないことが望ましく、うがいで排出できるような食材や形態を検討し、献立作成を行っております。
形成外科の医師、病棟の看護師と一緒に、患者さまの声を取り入れながら試作を繰り返して出来上がった食事です。

特徴

a.　粥を食べない児童が多いことを受けて、主食は粥の他に麺類も取り入れました。
麺は1～2cmにカットした素麺を使用して、ラーメン風の味付けにする等の工夫をしています。

b.　顎裂の患者さまは一般的にストローで吸うことが難しい方が多く、術後でも訓練が始まるまではジュースなどの液体は全てカップに入れて提供しています。

c.　対象患者さまの年齢を考慮して、料理の形や食器もかわいらしいものとするなど、見た目にも配慮しています。

顎裂5分粥食

・味噌ラーメン
(カットした麺を使用しています)
・赤魚の照り焼き
(赤魚のムース、葉っぱの形のほうれん草ムース付き)
・とうもろこしのバター醤油
(とうもろこしのムースを使用)
・トマトサラダ
(トマトゼリーと玉ねぎのムースのサラダにジュレ状のポン酢を添えています)
・りんごジュース

顎裂5分粥食

・5分粥
・鶏肉のソテー
(とうもろこしムースのちょうちょ、人参ムースのお花付き)
・キャベツのサラダ
(キャベツとじゃが芋のムース)
・ピーチクラッシュ
・野菜ジュース